

23-3 カムイユカラ

「ヌプリ コロ カムイポホ (ヘイノ)」

山を持つ神の息子

語り：黒川てしめ

サケヘ V=ヘイノ
heino

V イレス アイネ (?) [1] 私は育てられて
V i=resu ayne(?)

V イパンコツ トット 私の母は
V ip an=kor_ totto

V イレス キワ 私を育てて
V i=resu ki wa

V オカアン ヒケ 暮らして
V oka=an hike

V タネ アナクネ 今は
V tane anakne

V アイアラパレ クシ 私を行かせるため (の 때가 (?))
V a=i=arpare kus

V ウ ハンケハンケ 近づいてくる
V u hankehanke

V ウ タンペ クス このために
V u tanpe kusu

V アイアラパレ クシ	私を行かせるために
V a=i=arpare kus	
V サケカラン コロ	酒をつくりながら
V sakekar=an kor	
V ウ シラニネ	いる様子であって
V u siran h_ine	
V ソヤイオマレ	私は外に出され
V soy a=i=omare	
V エヌネ キ (?) イネ ^[3]	そうして
V enune ki(?) h_ine	
V ソイエネアン ヒケ	外へ出ると
V soyene=an hike	
V イパンコロ アイヌ	私の父が
V ip an=kor aynu	
V エカム…… オ…… イナウル	冠りもので
V ekam... o... inawru	
V エチパクルカ ^[4]	頭の上を
V ecipakurka-	
V ラリレ カネ	押さえつけて
V rarire kane	
V イパンコロ トット	私の母は
V ip an=kor tutto	
V トウ ペケンヌペ	二しずくも
V tu pekennupe	

V レ ペケンヌペ	三しずくも
V re pekennupe	
V ヤイコランケ	涙を流した
V yaykoranke	
V ウ キ コロカ	けれども
V u ki korka	
V イパンコツ トット	私の母は
V ip an=kor_ totto	
V オトウ タプカンル	2回も舞を
V otu tapkanru	
V オレ タプカンル	3回も舞を
V ore tapkanru	
V ウエ……… ウカクシテ	何度もくり返して
V ue... ukakuste	
V オカアン アクス	いると
V oka=an akusu	
V ウ アコラ アイヌ	私の父は
V u a=kor a aynu	
V イナウチパ オツ タ	外の祭壇で
V inawcipa or_ ta	
V チトウイエ イナウ	枝を切っただけの木幣
V cituye inaw	
V チトウイエ クワ	枝を切っただけの杖を
V cituye kuwa	

V ウ アンパ カネ	持って
V u anpa kane	
V オルイペネ エムシ	刀身だけの刃を
V oruypene emus	
V ウ アンパ カネ	持って
V u anpa kane	
V オトウ タプカンル	2回も舞を
V otu tapkanru	
V オレ タプカンル	3回も舞を
V ore tapkanru	
V ウカクシテ	何度もくり返して
V ukakuste	
V オカ ロク ヒネ	いて
V oka rok hine	
V エネ イタク ヒ	このように言った
V ene itak hi	
V 「タパン テワノ	「今から
V “tapan tewano	
V ウ ペッ トウラシ	川に沿って上流へ
V u pet turasi	
V エアラパ ヤクネ	行ったら
V e=arpa yakne	
V ウ チュプカ ワ クシ ペッ	東から通る川 ⁵
V u cupka wa kus pet	

V ウ ペッ トウラシ V u pet turasi	川をさかのぼって
V エアラパ ヤクネ V e=arpa yakne	行ったら
V トウ ペッ ネ ペッ アン V tu pet ne pet an	二股の川がある
V ウ ペッ トウラシ V u pet turasi	川をさかのぼって
V エアラパ ヤクネ V e=arpa yakne	行ったら
V カムイ シクマ V kamuy sikuma	神の峰が
V ウ アン ナンコロ ワ V u an nankor wa	あるであろうよ。
V オロ タ エアラパ V oro ta e=arpa	そこに行き
V ウ キワ ネ ヤク V u ki wa ne yak	そうしたら
V ウ シトウ カタ V u situ kata	尾根の上に
V エヘメス ヤク V e=hemesu yak	お前が登ったら
V ウ カネ チセ V u kane cise	金の家

V ポロ チセ アン	大きい家がある
V poro cise an	
V オロ タ エアフン	そこに入ると
V oro ta e=ahun	
V キワ ネ ヤクネ	そうしたら
V ki wa ne yakne	
V カムイ エオナ	神の父
V kamuy e=ona	
V カムイ エウヌ	神の母が
V kamuy e=unu	
V ウ アン ナンコン ナ	いるだろうよ。
V u an nankor_ na	
V アエコプンテク ナ	お前は喜ばれるよ。
V a=e=kopuntek na	
V オルイペネ エムシ	刀身だけの刀で
V oruypene emus	
V エエニタウキタウキ ^[6]	お前は木を切り切り
V e=enitawkitawki	
V ウ タパン イナウ	この木幣
V u tapan inaw	
V キケパラセイナウ	削りかけを散らしてある木幣で
V kikeparseinaw	
V エエニキツキク	お前は木を叩き叩き
V e=enikikkik	

V キケヘ エトウイパ V kikehe e=tuypa	削りかけの木幣を切り
V ウ ^[7] キ コロ エアラパ V u ki kor e=arpa	ながら行き
V ウ キ ワ ネ ヤク V u ki wa ne yak	そうしたなら
V アエコプンテク ナ」 V a=e=kopuntek na”	お前は喜ばれるよ」
V ハウエアン キ コロ V hawean ki kor	言いながら
V イコレ ヒ クス V i=kore hi kusu	私に与えたので
V アラパアン オラノ V arpa=an orano	私は言われたように行き、それから
V アラパ トウイカ タ V arpa tuyka ta	行く途中で
V ウ アコロ イナウ V u a=kor inaw	私が持つ木幣で
V アネニキッキク V an=enikikkik	木を叩き叩き
V アネ…… アコロ エムシ V ane... a=kor emus	刀で
V アネニタウキタウキ V an=enitawkitawki	木を切り切り

V アラパアナ アイネ	行くと
V arpa=an a ayne	
V カムイ シクマ	神の峰に
V kamuy sikuma	
V トウ ペツ ネ ペツ アン	二股になった川があり
V tu pet ne pet an	
V トウ ペツ ウトウル カリ	二股の間から
V tu pet utur kari	
V ヘメスアン アイネ	登り、しばらくして
V hemesu=an ayne	
V カム…… シトウ カ タ	尾根の上へ
V kamu... situ ka ta	
V ヘメスアン アクス	登ると
V hemesu=an akusu	
V イヤイヌマレ	それは立派な
V iyaynumare	
V カムイ カネ チセ	神なる金の家
V kamuy kane cise	
V ポロ チセ アン	大きい家があり
V poro cise an	
V オロ タ ネシ	そこに
V oro ta nesi	
V アフプアナクス	入ると
V ahup=an akusu	

V カムイ オンネクル V kamuy onnekur	神のおじいさん
V カムイ ルプネマツ V kamuy rupnemat	神のおばあさん
V オカ ルウエ ネ V oka ruwe ne	がいる
V アフンアナクス V ahun=an akusu	入ると
V カムイ ル…… オンネクル V kamuy ru... onnekur	神のおじいさんが
V ウ シアペパスイ V u siapepasuy	太い火箸を
V ウ テクサイカレ V u teksaykare	さっと取り
V アパ トウイカ ウン V apa tuyka un	入口の上まで
V ウ コチョラウキ V u kocorawki	攻めてきて
V イトイコキツキク V i=toykokikkik	私をひどく殴り
V カムイ ルプネマツ V kamuy rupnemat	神のおばあさんが
V シアペケシ V siapekes	太い燃えさしを

V ウ テクサイカレ V u teksaykare	さっと取り
V イトイコキッキク V i=toykokikkik	私をひどく殴り
V ウ トウイカシケ V u tuykasike	ながら
V イタクオマレ V itako'mare	話したのは
V エネ オカ ヒ V ene oka hi	このようだ。
V 「エネ エイキ クシ V "ene e=iki kus	「こうするために
V ウ アイヌ オツ タ V u aynu or_ ta	人間のところに
V アエカシヌカリ V a=ekasnukar h_i	神から授かったこと
V ウ ネ ワ ヘタプ V u ne wa hetap	であろうか。
V ネプ エカラ クシ V nep e=kar kus	お前は何のために
V ソイエネ トウイカ タ V soyene tuyka ta	外へ出たときに
V アイヌ オックアイポ V aynu okkaypo	人間の若者を

V シネペライケ V sinep e=rayke	一人殺したのか。
V ウ ネワアンペ V u newaanpe	そのことが
V ウ フチ アペ V u huci ape	火の神
V ウ オロ ワノ V u oro wano	のところから
V エエク ワ ネ チキ V e=ek wa ne ciki	来たのだから
V ウ アッテイネシリ V u atteynesir	非常に湿った国土
V ウ アラウエン モシリ V u arwen mosir	非常に悪い国土
V アエコオテレケ V a=e=kooterke	にお前は踏み落とされ
V ウ キ ヤク ピリカ」 V u ki yak pirka”	たら良い」
V セコロ オカイペ V sekor okaype	という
V トウ ソンコ イキリ V tu sonko ikir	二つの伝言の束
V レ ソン(コ) イキリ V re son(ko) ikir	三つの伝言の束を

V アルカラリ [8]	重ね重ね
V arukarari	
V キルイ ネ ペ	ひどくそうしたが
V ki ruy ne pe	
V 「ウ アイヌ アナク	「人間は
V “u aynu anak	
V ウ ライ キ キ コロ	死んで
V u ray ki ki kor	
V チトウイエ イナウ	枝を切っただけの木幣と
V cituye inaw	
V オルイペネ エムシ	刀身だけの刀を
V oruypene emus	
V アコロパレ ワ	与えられて
V a=korpora wa	
V ライ ペ ネ ヒケ	死ぬものだが
V ray pe ne hike	
V ヘマンタ ネ クシ	いったいなんで
V hemanta ne kus	
V アイヌ チョスラ	人間に捨てられて
V aynu cosura	
V アエカラカラ ワ	しまって
V a=ekarkar wa	
V エエク ルウエ ネ	お前はここに送られて来たのだ。
V e=ek ruwe ne	

V エネ アエトムテ クニ V ene a=e=tomte kuni	このようにお前が飾られ
V エネ アエカラ クニ V ene a=e=kar kuni	このようにお前がされるように (?)
V ウネノ カネ V uneno kane	同様にして
V アエトムテ キワ V a=e=tomte ki wa	お前が飾られて
V アイヌ ネ ヒケ V aynu ne hike	人間であるものも
V ウ シンリッ オルン V u sinrit or un	先祖のところ
V ウ アラパ…… エコホピ ノ V u arpa... ekohopi no	と別れて (先祖のところへは行けず)
ヘマンタ ネ プ hemanta ne p	化け物になったものを
V エネ オカワ V ene oka wa	このようにして
V エコロ ワ エエク V e=kor wa e=ek	お前は持って来た
V キ シリ オカ」 V ki siri oka”	のか？」
V セコロ イタク コロ V sekor itak kor	と、言いながら

V イトイコキツキク V i=toykokikkik	私をひどく殴り
V インカラアナクス V inkar=an akusu	見ると
V ウ ソンノ ポカ V u sonno poka	本当に、言われたとおり
V ウ ネ ロコカ V u ne rokoka	だったのだなあ。
V ソイエネ トウイカ タ V soyene tuyka ta	外へ出たときに
V オロヤチキ V oroyaciki	気がついてみると
V ケナシ ウナラペ V kenas unarpe	野原の化け物おばさんが
V イテクサム オロケ V i=teksam orke	私のそばで
V ウ エウンエウン V u eun·eun	うろうろしていた。
V 「イテキ イネノ V “iteki i=nenno	「決して私のようにするな
V ウ エイキ ヤクネ V u e=iki yakne	お前がそうしたら
V アリペクンネ アニ V aripekunne ani	小刀でもって

V アエチャチャチャチャ	お前を引き切って
V a=e=cacacaca	
V アエウエンパカシヌ (?) ㊦ クス ネ」罰してやるぞ」	
V a=e=wenpakasnu(?) kusu ne”	
V セコロ ハワシ ナ	と、声がする
V sekor hawas na	
V ケナシ ウナラペ	野原の化け物おばさんが
V kenas unarpe	
V イイエ ルウエ ネ	私に言ったのだが
V i=ye ruwe ne	
V ケナシ ウナラペ	野原の化け物おばさん
V kenas unarpe	
V アシタイキ ペ	を叩くと
V a=sitayki pe	
V ネ イ オロ タ	そこに
V ne h_i oro ta	
V アイヌ オッカイボ	人間の若者を
V aynu okkaypo	
V コトウクテ キ(?)	くっつけていた (?)
V kotukte ki	
V アイヌ オッカイボ	人間の若者と
V aynu okkaypo	
V ケナシ ウナラペ	野原の化け物おばさんを
V kenas unarpe	

V アライケ フミ	私が殺した感じで
V a=rayke humi	
V ウ ネ キ クナク	あったと
V u ne ki kunak	
V アエラム クス	思うので
V a=eram kusu	
V ウ エカン カトウ	私がここに送られて来たの
V u ek=an katu	
V ウ ネ ロコカ	だったなあと
V u ne rokoka	
V ウ チサン キ コロ	泣きながら
V u cis=an ki kor	
V ソイエネアン ワ	外へ出て
V soyene=an wa	
V ウ エカン キ ワ	来て
V u ek=an ki wa	
V ケナシ ウナラペ	野原の化け物おばさんを
V kenas unarpe	
V ウ アッテイネシリ	非常に湿った国土
V u atteynesiri	
V ウ アラウエン モシリ	非常に悪い国土
V u arwen mosir	
V アコオテレケ	に私は踏み落と
V a=kooterke	

V キルウエ ネ コロカ V ki ruwe ne korka	したけれど
V ウ イペ ハット V u ipe hatto	食べることを禁じられ
(ここから散文)	
V ワッカ ク ハット アイコキ ヒネ ^[10] V wakka ku hatto a=i=koki hine	水を飲むことを禁じられ
オロワノ ワッカ ク…… ワッカ カ orowano wakka ku... wakka ka	それから水も
アク カ ソモ a=ku ka somo	飲みもしない
イペ カ ソモ ipe ka somo	食べもしない
アキ ノ a=ki no	でいて
チサン コロ ケメカラアン (?) cis=an kor kemekar=an(?)	泣きながら餓死して (?)
アラウエンカムイ arwenkamuy	極悪神 (である)
ケナシ ウナラペ kenas unarpe	野原の化け物おばさんを
アッテイネシリ atteynesiri	非常に湿った国土
アコオテレケ a=kooterke	に踏み落とした

ルウエ ネ コロカ
ruwe ne korka

けれども

キワ
ki wa

して

アテケヘ カ カルシ ネ オカ (?)
a=tekehe ka karus ne oka(?)

私の手もキノコになって (?)

アケマハ カ カルシ ネ オカ (?)
a=kemaha ka karus ne oka(?)

私の足もキノコになって (?)

タネ アナクネ
tane anakne

今は

ソモ イペ ノ ネノ
somo ipe no neno

食事もしないで、そのまま

イキアナイネ
iki=an ayne

そうしているうちに

ライ ネ ヤッカ
ray ne yakka

死んでも

ライ シンナイサム
ray sinnaysam

ひどい死にざまを

アキ クシ ネ クシ
a=ki kus ne kus

とげることになるだろうから

タネ オカ カムイ
tane oka kamuy

今いる神様は

イテキ ネノ
iteki neno

そんなことを

イキパ ヤク ピリカ セコロ するのではないと
ikipa yak pirka sekor

ヌプリ コロ カムイ ポホ 山を持つ神の息子が
nupuri kor kamuy poho

ハウエアン コロ イサムしたと いいながら死んだんだと
hawean kor isam. SITATO

(萱野：ほー、珍しいカムイユカラ)
(萱野：ほー、珍しい kamuyyukar)
(萱野：ほー、珍しい神謡)

ほんとに、どこにあるもん

タネ アナクネ イサンペ 今はいないものが
tane anakne isampe

ケナシ ウナラペ 野原にいるおばさんという
kenas unarpe

アラウエンカムイ ネワ クス 極悪神であるので
arwenkamuy newa kusu

エネ ハワシ このような話を
ene hawas h_i

ネ ハウエ ネ ハウエ 聞いた
ne hawe ne hawe

【注】

- [1] 音はアヌ のように聞こえるが、アイネ ayne か。
- [2] 主人公は人間に育てられている熊であるため、ここでの「母」は人間の母。
- [3] 音はエヌネイネ のように聞こえるが、enune ki の k の音が弱まったものか。
- [4] e-「～でもって」 ci-「自ら」 pa「頭」 kurka「の上」 rari「～を押さえつける」

-re 「～させる」か。ここでは、父親が冠りものをかぶったということ。

[5] ここでは、「二股になっている」の後に言うべきフレーズを先に言ってしまったもので、川に沿って上流に進んでいくと二股になっている支流があるので、そのうちの東のほうを流れている川に沿ってさらに上流に行けという指示か。

[6] e- 「～でもって」 ni 「木」 tawkitawki 「～を何回も叩いて切りつける」

[7] ヌ nu のように聞こえるが、虚辞のウ u か。

[8] 『久保寺辞典稿』に「arukarapa 重ね重ね来る =arukarari」(P29) とある。

[9] 音はウエンパカイヌ wengkapaynu のように聞こえるがウエンパカシヌ wengkapasnu か。

[10] 『千歳方言辞典』の hatto の項に「nepki hatto/a=koki hawe? 仕事をしちやいけ
ないって言うのか」(P322) という例文があることを参考にした。